

令和7年度 第1回千葉県後期高齢者医療懇談会 議事概要

第1 日 時 令和7年7月31日(木) 10時00分 ～ 11時15分

第2 場 所 千葉県後期高齢者医療広域連合 会議室

第3 出席者 別添出席者名簿のとおり

第4 会議内容

●委員自己紹介

●事務局職員自己紹介

●事務局長挨拶

●会長挨拶

●副会長指名

石丸委員を指名

●傍聴人確認

傍聴人4名入場許可。写真撮影許可。

●開会

●議題

(1) 令和8・9年度 保険料率の改定について

(2) 第3期データヘルス計画の進捗状況について

●閉会

●議事要旨

議題 1. 令和 8・9 年度 保険料率の改定について

(1) 事務局からの説明

・「千葉県における後期高齢者医療制度の動向について」

(2) 質問・意見等

会 長：事務局からの説明について、委員の質問や意見を伺いたい。

委 員：「千葉県における後期高齢者医療制度の動向について」3 頁では、千葉県と全国平均の一人あたりの医療費の推移を比較しており、千葉県後期高齢者医療制度の一人あたりの医療費は、全国平均より少なくなっている。一方で、同資料 4 頁では、令和 2, 3 年度及び令和 4, 5 年度の千葉県内の一人当たり保険料は全国平均より高い。保険料の算定は、医療費と相関関係があるとの説明だったが、なぜこのようになっているのか理由を伺う。

事 務 局：千葉県の均等割額及び所得割率は、全国平均より低く設定しておりますが、令和 2, 3 年度及び令和 4, 5 年度の一人当たりの保険料額は、全国平均を上回っています。この理由は、千葉県内の被保険者の所得が全国平均より高いためと推測しております。

議題 2. 第 3 期高齢者保健事業実施計画（データヘルス計画）について

(1) 事務局からの説明

・「千葉県における後期高齢者医療制度の動向について」

・「第 3 期高齢者保健事業実施計画（第 3 期データヘルス計画）」

・健康診査の受診勧奨動画（動画視聴）

(2) 質問・意見等

事 務 局：各委員の皆さまにおかれまして、健康づくりに関して日頃より取り組まれている実践例等がございましたら、この機会にご紹介いただけますと幸いです。

会 長：まずは、被保険者代表の委員からご意見を伺いたいがいかがか。

委 員：第 3 期データヘルス計画においては、袖ヶ浦市の健康診査受診率が県内第 1 位となっている。また、市町村別の被保険者一人当たり医

療費についても、相対的に低い水準にあるとのデータが示されている。このことから、健康診査の受診率と被保険者一人当たり医療費との間には一定の相関関係が認められるものと考えられる。そのため、シニア層を対象とした大会等の機会を活用し、健康診査の受診を積極的に呼びかける取り組みを実施している。

事務局：健康診査の受診勧奨につきましてありがとうございます。事務局としましても健康診査の受診率が高い市町村は医療費が低くなる傾向があると認識しております。例を出していただいた袖ヶ浦市に健康診査の受診率向上に関する取組を確認し、好事例などは県内市町村に情報共有してまいります。

会長：続いて、保険医代表の委員からご意見を伺いたいがいかか。

委員：歯科健康診査の受診率について、全国的に見れば千葉県は良い数値だが、健康診査の受診率と比較すると低い状況にある。また、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」における口腔事業について、目標値に届いていない。受診率のさらなる向上のためには、様々な団体から歯科健康診査の受診の重要性について情報発信していただくことが有効であると考えている。また、オーラルフレイル予防の重要性について、更に強調すべきである。8029運動を推進することは健康寿命の延伸にもつながる。先ほどの受診勧奨動画においても、歯科健康診査に触れていただければありがたいと考えている。

事務局：歯科健康診査の受診勧奨動画につきましては、今後の課題とさせていただきます。口腔機能の低下は栄養摂取の障害につながると考えておりますので、その重要性を認識したうえで、データヘルス計画を進めていきたいと考えております。

会長：続いて、医療保険者代表の委員はいかがでしょう。

委員：協会けんぽ（全国健康保険協会）は、主に中小企業のサラリーマンを対象とした健康保険である。健康課題としては、喫煙、高血圧、咀嚼機能の項目において数値が悪いという健康診断の間診票の集計結果が出ており、それらの改善に向けて取り組んでいる。令和7年6月に、協会けんぽ、千葉県歯科医師会、株式会社ロッテの三者で歯・口腔の健康づくりに関する協定を締結した。また、口腔機能に関するアンケートを実施予定であり、アンケートを配布する際には、咀嚼力を測定できるチェックガムを同封して、状況確認を行いたいと考えている。

事務局：オーラルフレイル予防の重要性を再認識し、当広域連合といたしま

してもオーラルフレイル予防に取り組んでいきたいと考えております。そのため、千葉県歯科医師会様にご協力をお願いできれば幸いです

委員：動画の中で、健康診査の受診が社会貢献につながるという表現があった。受診を義務とすると、後期高齢者のモチベーションが低下しがちであるが、社会貢献と結び付ける手法は、民間企業のマーケティング手法を取り入れたものであり、効果的であると感じた。後期高齢者が自発的に受診できるようにしていくことが望ましいと考える。

事務局：委員が発言されたように、健康診査の受診を義務にしまうと、自発的な受診につながりにくいため、健康診断は身近な社会貢献というスタンスで、今後も情報発信していきたいと考えております。

委員：近年は、単独世帯や後期高齢者の夫婦二人世帯が増加している。そのため、「自分のために」という点を強調した動画があっても良いのではないかと感じた。自分事になるが、50代となり、噛む力の低下を実感している。歯磨きではなく、歯ぐき磨きを強調していくことが重要であるとする。大学においては、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」について講義や実習で学生にも教えている。また、健康不明者の把握について、千葉市と協力して活動を研究的にサポートしている教員もいる。健康不明者を減らし、元気な高齢者が増えていくために、好事例を共有していただきたいと考える。

委員：参考までに、シルバー人材センターについて紹介する。シルバー人材センターでの活動と医療費の関係に関する分析結果によれば、会員と非会員の医療費を比較すると、会員の方が医療費が低い傾向にある。外で活動することが、フレイル予防のための健康維持につながっている。また、一部のシルバー人材センターの事業所では、会員に対して健康診査の受診勧奨を行っている。高齢化社会が進展する中で、シルバー人材センターは健康維持の受け皿として、ますます重要になっていると考える。

事務局：委員が発言されたように、自分のために健診を受診する必要性についても重要と感じました。また、健康不明者の対策につきましても重要であると考えております。また、フレイル予防については、外で活動することは非常に重要であると認識しております。健康診査の受診勧奨につきまして実施していただいております。ありがとうございます。

以上 懇談会終了

**令和7年度 第1回
千葉県後期高齢者医療懇談会出席者名簿**

区分	委員名	団体名	役職	備考
被保険者代表	田中 豊嗣	公益社団法人 千葉県シルバー人材センター 連合会	理事	
	高石 静江	公益財団法人 千葉県老人クラブ連合会	評議員 (袖ヶ浦市シニア クラブ連合会会長)	
	清水 節雄	社会福祉法人 千葉県社会福祉協議会	千葉市 社会福祉協議会 評議員	
保険医等代表	新井 康仁	一般社団法人 千葉県歯科医師会	副会長	
	鷲尾 夢香	一般社団法人 千葉県薬剤師会	研究員	
医療保険者代表	郡司 文夫	健康保険組合連合会 千葉連合会	業務部会 副部会長	
	山下 秀樹	全国健康保険協会 千葉支部	企画総務部長	
	青柳 誠	公立学校共済組合 千葉支部	事務局長	
連合長が必要と認める者	諏訪園 靖	千葉大学大学院 医学研究院 環境労働衛生学	教授	
	石丸 美奈	千葉大学大学院 看護学研究院 地域創成看護学	教授	
	金子 恵子	公益社団法人 千葉県看護協会	専務理事	
	石原 徳子	公益社団法人 千葉県栄養士会	副会長	

区分	氏名	役職等	備考
広域連合事務局	櫻井 文明	事務局長	
	石川 真二	次長	
	宮木 睦美	総務課長	
	土屋 祐介	総務課長補佐	
	櫻井 靖久	資格保険料課長	
	奥山 英俊	資格保険料課長補佐	
	西谷 優人	給付管理課長	
	上原 高	給付管理課長補佐	
	中村 志穂	会計室長兼議会事務局長	
傍 聴 人		4 名	写真撮影許可